

凸版印刷、群馬工場再構築へ包装材基幹工場新設

Edited By LogisticsToday On 2012/03/02

凸版印刷は2日、群馬工場(群馬県邑楽郡大泉町)を再構築するため、群馬県「明和第三工業団地」(邑楽郡明和町)に包装材事業の基幹となる新たな工場を建設すると発表した。

2日土地取得契約を締結し、10月に着工する。新工場では、クリーンな生産環境、高度な品質管理体制のもと、ハイバリア包材を中心に医療医薬品や食品などの用途・製品に使用される最先端の包装材を生産する。

また、エネルギー使用を抑えた高効率な生産設備の導入、クリーンエネルギーの利用などにより、環境負荷の低減を促進する。

新工場の建設により、関東圏の生産体制を強化するとともに、全社の包装材生産拠点の基幹工場として包装材の安定供給を図る。

■新工場の概要

所在地:群馬県邑楽郡明和町大輪(明和第三工業団地内)

敷地面積:15万4000平方メートル

建築面積:2万9000平方メートル

着工予定:2012年10月

完成予定:2014年3月

製造品目:包装材料

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト: <http://www.logi-today.com>

URL to article: <http://www.logi-today.com/28174>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.